

## 慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたい慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

### 慣用句

『舌の根の乾かぬうち』

意味: 今行った言葉が終わるか終わらないうちに、の意味。

ひとつこと: 類義語として”二枚舌“がある。

使い方: 彼は“賛成”と言った舌の根も乾かぬうちに、“反対”と言った。

『舌をまく』

意味: ひどく驚いたり、感心したりすること。

ひとつこと: 舌をまくと言葉が出ないことから来た言葉。

使い方: 彼のピアノの上手さには舌を巻いた。

『しっぽをつかむ』

意味: ごまかしていたことの、証拠をつかむと言う意味。

ひとつこと: 化けていた狸や狐が、隠していたしっぽを出すことからきた言葉

使い方: 弟はこっそりお菓子を食べたが、母はすぐにそのしっぽをつかんだ。

『しびれを切らす』

意味: 待ちくたびれて我慢できなくなる、の意味。

ひとつこと: 長く正座をしていると、足がしびれることから来た言葉。

使い方: いくら待っても友達が来ないので、しびれを切らせた。